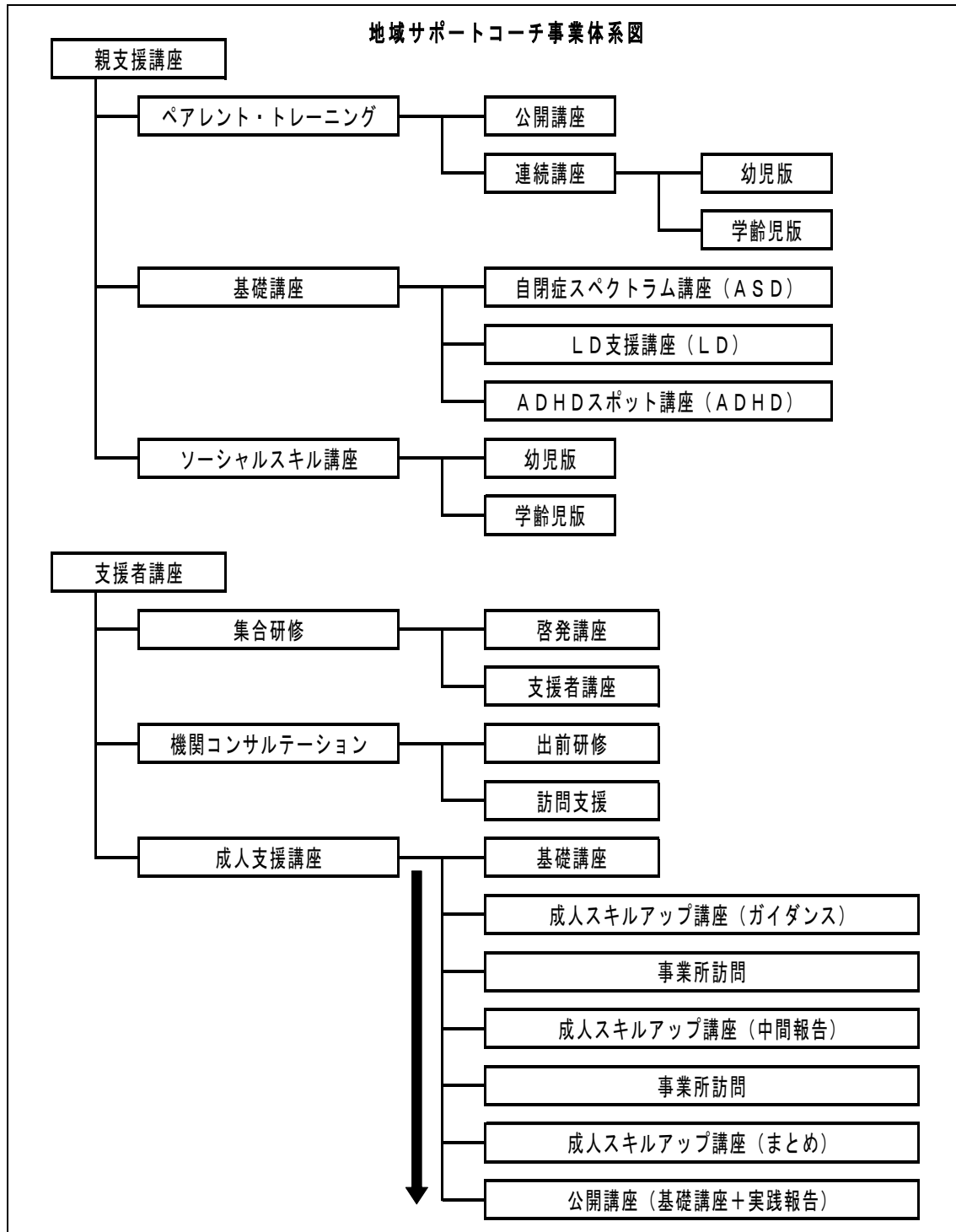


発達障がい者支援センター（エルムおおさか）による地域サポート体制の強化  
（平成25年度）

事業概要

地域サポートコーチ配置し、地域の関係機関・事業所等への啓発・研修・支援、ペアレント・トレーニング等の親支援を実施。



## 【 取 組 状 況 】

**親 支 援 講 座****【1】ペアレント・トレーニング**

児童の特性や行動を理解し、親自身が児童にとっての「最良の療育者」となり自尊心を高めることができるよう、行動療法に基づく効果的な対応法を学び、話し合い、練習する。

**(1) ペアレント・トレーニング公開講座**

発達障がいのある児童の特性や対応方法を解説し、特性に応じた対応の重要性を啓発するとともに、ペアレント・トレーニングの目的、概要、実践、効果を紹介することでペアレント・トレーニングの受講を促す。

★実施済み (5回)

日程	会場	参加者数		
		保護者	支援者	計
4月17日	南 地域	37	11	48
7月30日	北 地域	25	33	58
9月4日	中 央地域	29	18	47
10月16日	西 地域	20	8	28
1月14日	東 地域	28	6	34
計		139	76	215

★ペアレント・トレーニング実践報告会 (1回)

日程	会場	内容	参加者数		
			保護者	支援者	計
3月11日	クレオ大阪中央	基調講演・実施報告・体験談	36	45	81

★公開講座アンケート結果 (回収率 95%)

講演内容について	人数
大変参考になった	160
参考になった	44
あまり参考にならなかった	0
参考にならなかった	0
無回答	0
計	204

**【感想・意見】**

- ・行動分析について再度考える機会になった。ほめる行動を見つめ直したい。
- ・「児童との信頼関係が一番大事な事」がよくわかりました。
- ・児童の当たり前に行っている行動も頑張っていることもあると思うと、ほめて親子の信頼関係を上げていきたい。

## ★実践報告会アンケート結果（回収率 95%）

講演内容について（満足度）	人数
大変参考になった	55
参考になった	19
あまり参考にならなかった	0
参考にならなかった	0
無回答	4
計	78

講演内容について（理解度）	人数
大変わかりやすかった	48
わかりやすかった	28
難しかった	0
かなり難しかった	0
無回答	2
計	78

## 【感想・意見】

- ・司会者や講師と参加された保護者の対談形式で生の声を聴くことができよかった。
- ・支援者として、バツな行動をすぐに止めてしまうことが多々あったので、スタッフ同士で今後とも勉強したいと思う。
- ・思春期（小学校高学年）の子どもを持つ親のペアトレを開催してほしい。
- ・トレーナー養成研修を開催してほしい。

## (2) ペアレント・トレーニング連続講座

行動療法に基づく効果的な対応方法を身につけ、児童の適応行動を増やす。計画表に沿ってテーマを決めて学習・話し合い・練習を行い、ホームワークを自宅で実践する。

## ★幼児5回/クール×3クール、学齢児8回/クール×4クール 計47回

対象	期間	参加者数		
		保護者	支援者	計
幼児	9/13～11/8	9	1	10
	10/4～11/29	9	1	10
	1/29～3/19	13	1	14
学齢児	5/14～11/05	9	1	10
	5/21～11/12	11	1	12
	11/18～3/17	11	1	12
	11/19～3/4	10	3	13
計	幼児	31	3	34
	学齢児	41	6	47

## ★アンケート結果

## 【参加者】

参加者	修了者	中断者の中断事由
72人	67人	体調不良3人、仕事1人、連絡つかず1人

## 【感想・意見】

- ・同じ悩みを持つ親と話ができたことで自分自身ホッとできた。
- ・参加者の話を聞いて、今問題が起きていなくても今からの地道な関わりかたの努力が将来の問題を防ぐのだとわかることができた。
- ・同じように困っている人はたくさんいるので、もっと普及するべきである。
- ・具体的に褒めることで、自信がついた。他人への思いやりが生まれた。

## (3) ペアレント・トレーニングフォローアップ講座 (2回)

ペアレント・トレーニング連続講座を受講された保護者を対象に、講座終了後ある程度の期間経過した段階で、ご家庭での取り組みや、課題等について再整理・共有し、今後のお子さんへのかかわり方の一助とする目的で開催する。

対象	期間	参加者数		
		保護者	支援者	計
幼 児	1/31	5	0	5
	3/14	7	0	7
計		12	0	12

## 【感想・意見】

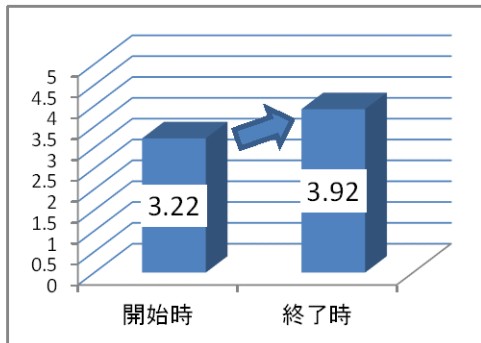
- ・一度身について“肯定的な見方”は、数か月経過後も継続されてはいるものの、「分かっているながらも元に戻りそうになる」との意見もあり、「忘れそうになった頃にこのような機会があるのは非常にありがたい」との意見が多く寄せられた。
- ・グループによっては、参加者が自主的に集まっているが、講座で受けた専門的な意見からの解決策には結び付きにくい現状もあり、自主的な集まりだけでなく、定期的に助言頂ける機会を希望する意見が寄せられた。

ペアレント・トレーニング実施結果

平成25年度

アンケートの平均値 n=62

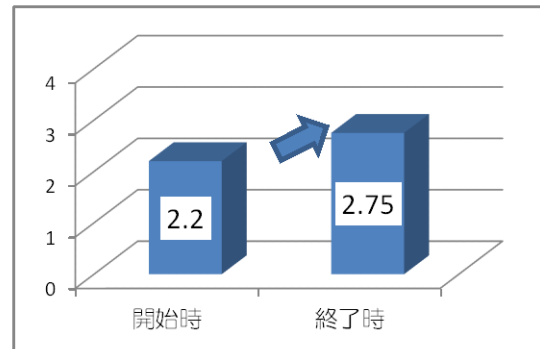
【自信度】



質問項目5分法

- 1：全く自信がない
- 2：やや自信がない
- 3：どちらとも言えない
- 4：やや自信がある
- 5：かなり自身がある

【ストレスの軽減】



質問項目4分法

- 1：そう思う
- 2：ややそう思う
- 3：あまり思わない
- 4：思わない

自信度アンケート 質問項目	
1	子どもの成長をあせらずに見守る
2	1日に1回以上、子どものことをほめている
3	子どもの困った行動に、対応できる
4	子どもの問題を学校の先生と一緒に考えていける
5	子どもについての、あなた自身の不安を減らす
6	あなた自身の楽しみのために時間を使う
7	子どもの行動による家庭内のいざかいを減らす
8	一人で悩まずに心配事を誰かに相談する
9	同じように悩んでいる家族と気持ちを共有する
10	子どもと一緒にいて楽しい

ストレスアンケート 質問項目	
11	子どもに対してイライラすることが多い
12	必要以上に子どもを叱ってしまう
13	子育てについて心配事がいろいろある
14	子育てに自身がない
15	親として不適格だと感じる
16	悲しくなったり、みじめな気持ちになる
17	子どもとの接し方がわからない
18	子どもを育てることが不安である
19	家庭内がしっくりいかない
20	相談できる相手がいない
21	家族は子育ての大変さを理解してくれない

## ペアレント・トレーニング《区役所版》の試行について

## 1. ペアレント・トレーニングの目的

子どもの行動を理解し、行動療法に基づく効果的な対応法を学ぶことにより、よりよい親子関係づくりと子どもの適応行動の増加を目指す。

## 2. 区役所版の目的

平成25年度より大阪市発達障がい者支援センターが実施しているペアレント・トレーニング（幼児版）を次の目的により区役所において試行する。

- ① 区保健福祉センターで行われている母子保健業務・子育て支援業務にペアレント・トレーニングが加わることにより、支援内容の充実を図る。
- ② 保護者にとって身近で利便性が高く、安心できる場所である区役所で実施することにより、地域的な繋がりのある保護者同士が共感し、共に支え合い育児等に取り組むことができるようになる。

## 3. 内容

- ① 人数 5名～10名
- ② 回数 1クール5回
- ③ 参加費用 無料
- ④ 対象者 発達障がいと診断された、又は疑いのある児童（未就学児）の保護者
- ⑤ 実施時期 平成25年度下半期にオリエンテーションを兼ねた体験版ペアレント・トレーニング講座を実施し、平成26年度上半期にペアレント・トレーニングを試行する。

## 4. 役割分担

	区 役 所	エルムおおさか
事業の位置づけ	○ * 1	○
会場準備（事前予約）	○	
対象者への周知・選定	○	
保育（実施する場合）	○ * 2	
講座運営（資料作成含む）		○
当日会場設営・後片付け等		○
講座中の保護者への連絡等		○

※1 区保健福祉センターの保健師が行っている集団指導の一環・子育て支援室が行っているグループ指導の一環という位置づけをお願いしたい

※2 実施しない場合は、相談のあった保護者に必要に応じてファミサポや一時保育を紹介する。実施する場合は、スタッフや保険の対応が必要

## 5. 試行結果の検証

発達障がい者支援室と区保健福祉センターが共に試行の結果を検証し、効果や今後の展開について検討を行う。

## 支援室

ペアレント・トレーニングの実施前及び実施後に「家族の自信度アンケート」により保護者の養育に関する不安の軽減や自信の回復度について検証する。また保護者に参加後の感想をアンケート調査する。

## 支援室・区

区役所で実施したことに対する保護者の実感、区保健福祉センターにおける支援との連続性・連携効果

## 6. 体験版ペアレント・トレーニング講座実績

## ★実施済み（2回）

日程	実施区	参加者数
1月24日	港区保健福祉センター	7
2月27日	城東区保健福祉センター	11
計		18

## 参加された方の状況等

- ・ 診断済みの人だけでなく、今後受診予定の人も参加
- ・ 保護者の障がい受容も様々
- ・ 開始直後は子育てが辛く泣く母もいたが、他の参加者から皆同じように辛いのだと聞き終了時には笑顔になっていた。
- ・ 試行後は家庭児童相談員でフォロー

## 【2】基礎講座

## (1) 自閉症スペクトラム障がい講座 (ASD)

「自閉症スペクトラム障がいのある児童の理解と支援」をテーマに、作業療法士から特性や環境調整について講演し、家庭での取り組み方法を学習する。

★実施済み (4回/クール×4クール 計16回)

内容	期間	会場	参加者数 (延べ)		
			保護者	支援者	計
・感覚と運動の視点から ・環境づくり ・気になる行動の考え方 ・不器用さへの支援	6/11・18 7/2・9	市民交流センター東淀川	68	36	104
・特徴と支援 ・得意な事、苦手な事 ・支援の手立て ・家庭としてできること	9/7・14・ 21・28	子育ていろいろ相談センター	73	0	73
・感覚と運動の視点から ・環境づくり ・気になる行動の考え方 ・不器用さへの支援	11/12・19、 12/3・10	阿倍野区民センター	49	19	68
・特徴と支援 ・得意な事、苦手な事 ・支援の手立て ・家庭としてできること	2/1・8・22・ 3/1	子育ていろいろ相談センター	33	0	33
計			223	55	278

## ★アンケート結果

【講演内容について】(回収率85%) (第2・4クールは共催研修のためアンケート実施せず)

内容	人数
大変参考になった	99
参考になった	38
あまり参考にならなかった	3
参考にならなかった	0
回答なし	7
計	147

## 【感想・意見】

- ・気になる行動が何からきているのか(感覚など)がよくわかりました。
- ・事例や支援のヒントも教えて頂き、取り入れられることは試してみたいと思います。
- ・来て良かった。こうすれば良いと思っても具体的にはわからずにいたので。
- ・「見てわかる」工夫。「姿勢」の大切を理解することができました。



**(2) LD支援講座 (LD)**

学習のつまずきや宿題への対応など、児童の特性に応じた支援や指導方法のポイントについて、講義をうけ、学習する。

対 象：学齢児の保護者、支援者

回 数：2回連続

## ★実施済み (2回/クール×1クール 計2回)

内容	期間	参加者数 (延べ)		
		保護者	支援者	計
学習のつまずきや宿題の対応等、学習支援のポイントについて	7/4・11	80	59	139

## ★アンケート結果

【講演内容について】(回収率 88%)

内容	人数
大変参考になった	77
参考になった	44
あまり参考にならなかった	1
参考にならなかった	0
計	122

## 【参加された保護者の児童の年齢】

5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳
7%	39%	18%	18%	2%	2%	7%	7%

## 【感想・意見】

- ・児童の学習での疑問や困り感がわかった
- ・具体的な支援方法がわかり大変役に立ちました
- ・疑似体験がとてもよかった。わかっているつもりだったと気づいた。児童目線で一緒に生活していきたい。
- ・教材についても職場で紹介していきたい。
- ・大きくなった時にどのような場面に遭遇するのか不安

## 希望する講座

- ・友達との関わり方のような講座
- ・児童の年齢が中学、高校生対象の講座

**(3) ADHDスポット講座 (ADHD)**

ADHDの診断を受けた児童には、身辺自立の苦手さは少ない一方で、急に道に飛び出す、食事中に何度も席を離れるなどの、より注意を要する問題行動が多くみられる。支援者や保護者は強いストレスを感じがちだが、最も困っているのは本人であり、児童によっては自閉症スペクトラム障がいや学習障がいを同時にもっている場合があり、児童の状態に応じた支援が必要となる。本講座では、ADHDの理解を深めていただくために、ADHDの基本的知識や関わり方などのポイントについて、講義をうけ、学習する。

**★実施済み (1回講座)**

内容	期間	参加者数		
		保護者	支援者	計
ADHDの診断を受けた児童への関わり方について	10/28	21	44	65

**★アンケート結果**

【講演内容について】(回収率 86%)

内容	人数
大変参考になった	48
参考になった	7
あまり参考にならなかった	0
参考にならなかった	0
回答なし	1
計	56

**【感想・意見】**

- ・普段わかっているつもりがいい加減な知識だということを知ることができた。明日からの指導に役立てることが出来ます。
- ・今まで児童への対応に関し、これで良いと思っていたことの見直しになりました。
- ・これまでの自分の保育を考えながら聞くことが出来ました。自己肯定感の大事さを改めて確認することが出来良かったです。
- ・ついつい叱ってしまった自分を振り返ることが出来ました。今後講座の内容を家で実践していきたいと思います。
- ・「できたこと」「成功したこと」に目を向け、ほめるところを探す日々でしたが、「出来ていることをほめる」を聞きたくさん思い浮かびました。もう一度しっかり考えて関わっていこうと思います。

**【3】 ソーシャルスキル講座**

対人関係を円滑にすすめるための具体的行動の身につけ方について、年齢や特性に応じてどのように教えていけばよいのか、家庭での取り組み方法を学習する。

★実施済み（幼児3回/クール×2クール、学齢児3回/クール×3クール 計15回）

区分	内容	期間	参加者数（延べ）		
			保護者	支援者	計
幼児版	幼児期で身に付けたソーシャルスキルについて	6/10・17・24	28	38	66
		11/7・14・21	33	19	52
学齢児版	小学校で身に付けたいソーシャルスキルについて	5/13・20・27	40	0	40
		9/9・19・30	45	14	59
		3/3・10・17	47	9	56
計			193	80	273

★アンケート結果（回収率 77%）

内容	人数
大変参考になった	47
参考になった	15
あまり参考にならなかった	1
参考にならなかった	0
無回答	7
合計	70

**【感想・意見】**

- ・何をポイントに伝えれば良いのか、大人が良き見本となることの大切さを再認識することが出来ました。禁止だけではなく、肯定的な伝え方で言い換える方法について、スタッフに研修で学んだことを共有して、利用者さんの良きサポートが出来るようにしたいと思います。
- ・具体的な事例をまじえた分かりやすい講座で、実際に支援にどんどん取り入れて活かしていきたいと思います。
- ・来年、小学校に向けて、就学相談など色々な場面で役立てていきたいです。

**支援者講座****【1】 集合研修****(1) 啓発講座**

民生委員・児童委員や地域女性団体協議会など、地域で活動されている団体等の市民向け講座として発達障がいの基礎的な講座等を開催し、発達障がいの理解促進・啓発を行う。

## ★実施済み（ 51回 ）

対象	内容	会場	日程	参加者数
一般市民	「発達障がい」って何やねん	西区	4/5	30
	成人の支援について	平野区	9/3	15
	発達障がい基礎講座	西区	10/22	55
	人権講演会	中央区	12/6	130
	「発達障がい」ってなあに？	平野区	2/27	200
当事者・保護者 団体等	事業所保護者研修	平野区	5/23	50
	親の会勉強会	中央区	5/31	25
	当事者・保護者サロン	淀川区	7/15	7
	当事者研修	東住吉区	11/23	75
	社会福祉法人研修	天王寺区	12/13	32
		平野区	3/29	41
NPO 法人（障がい者支援機関）	東住吉区	3/24	18	
区社協	発達障がい基礎講座	天王寺区	9/24	20
区青少年育成会		平野区	11/20	24
地域女性団体協議会		生野区	11/22	55
区 PTA・人権啓発推進員		西淀川区	2/20	54
区主任児童委員・子育て支援サポーター		港区	3/3	20
区保護司会		中央区	3/6	17
		平野区	3/28	65
区自立支援協議会		浪速区	9/25	10
		西区	11/9	23
		旭区	1/14	22
	住之江区	1/29	31	
	西成区	2/27	41	
	東淀川区	3/18	18	
	生野区	3/18	58	
私保連ブロック	発達障がい基礎講座	東部	11/15	67
私立保育園園長		城東区	11/20	16
北区子育て支援室 (区内保育所関係研修)		北区	1/16	38
			1/27	47

対象	内容	会場	日程	参加者数
市民局	発達障がい基礎講座	北区 (市役所)	2/17	26
			2/19	26
			2/24am	26
			2/24pm	29
市職員(家児相・保健師・心理士・保育士・事務等)	発達障がい基礎講座	北区	10/28	13
		阿倍野区	11/6	10
		淀川区	2/7	15
	支援者向け基礎編	鶴見区	12/11	79
	基礎講座+支援者向け基礎編	東成区	12/16	13
		住之江区	1/31	30
専門研修(SST)	都島区	3/13	11	
事業者向けブロック別講座	発達障がい基礎講座	東ブロック	1/20	21
		南ブロック	1/21	27
		西ブロック	1/22	18
		北ブロック	1/23	49
		中央ブロック	1/23 夜	33
民生委員・児童委員	発達障がい基礎講座	天王寺区 (クレオ大阪中央)	2/18am	709
			2/18pm	671
			2/19	734
			2/20pm	565
			2/20 夜	458
合 計				4867 人

## ★ アンケート結果 (実施者総数 1108 人 回収率 79%)

## 【啓発講座についての満足度】

内容	人数
大変参考になった	392 人
参考になった	328 人
あまり参考にならなかった	7 人
全く参考にならなかった	1 人
無回答	143 人
計	871 人

## 【啓発講座についての理解度】

内容	人数
大変わかりやすかった	230 人
わかりやすかった	136 人
難しかった	23 人

かなり難しかった	0人
無回答	482人
計	871人

**【感想・意見】**

- ・ 1つの枠に当てはめるのではなく、色々な視点で物事を捉えられるように気を付けたいと思います。視覚で伝えることの大切さがとても分かりました。
- ・ 当事者のことを理解して、個別性を活かした支援が出来ればと実感しました。
- ・ 事例もたくさん聞くことができ、自分の関わりのあるケースとも重ね合わせながら、支援のヒントをいただけ大変勉強になりました。

**(2) 支援者講座**

発達障がいのある児童生徒及び家族の支援者を対象に、発達障がいの基礎知識と支援方法についての講義、集団参加、コミュニケーションの問題や特性に合わせた関わり方の講義を通じて支援や指導方法について学習する。

**★実施済み (2回)**

内容	日程	参加者数		
		行政	行政以外	計
発達障がいの基礎知識と支援方法 (集団参加)	8/5	6	70	76
発達障がいの基礎知識と支援方法 (コミュニケーション)	8/26	8	130	138
計		14	200	214

**★アンケート結果 (回収率 92%)**

**【講座内容について】**

内容	人数
大変参考になった	91
参考になった	76
あまり参考にならなかった	0
参考にならなかった	0
無回答	31
合計	198

**【感想・意見】**

- ・ 現在出会っている児童たちの困り感の行動の書き出しから、その子の機能的課題をまずしっかり把握しておくことが不十分であったと感じました。
- ・ 対応の仕方のレパートリーが増え、これからは活かしたいと思います。
- ・ 保護者への説明とか対応能力が向上できる機会を頂き有りがたいです。

## 【2】機関コンサルテーション

## (1) 出前研修

集合研修を聴講したくても、施設の現場から離れることができないなどの支援者のニーズにあわせて、施設等を訪問し発達障がいに関する研修を実施する。

★実施済み ( 55回 )

対象	内容	日程	参加者数
児童発達支援 放課後等デイサービス事業所	発達障がい基礎講座	4/22	12
		10/4	20
		10/31	10
		11/25	12
		12/3	6
		12/18	3
		1/22	10
		1/21	18
		2/12	11
保育園	発達障がい基礎講座	4/26	10
		7/31	18
		9/20	15
		11/19	16
		11/27	40
		12/11	13
		12/21	70
		12/26	7
2/22	16		
幼稚園	発達障がい基礎講座	5/13	5
小学校	発達障がい基礎講座	6/26	30
特別支援学校	発達障がい基礎講座	8/1	60
専修学校	発達障がい基礎講座	3/13	3
障がい者支援施設	発達障がい基礎講座	11/1	24
就労移行支援・就労継続 A・B (青年・成人期支援機関)	発達障がい基礎講座	4/25	30
		6/21	25
		7/22	51
		10/23	5
		10/24	7
		12/7	29
		12/13	3
		12/20	11
1/17	14		

就労移行支援・就労継続 A・B (青年・成人期支援機関)	発達障がい基礎講座	2/10	5
		2/28	14
区障がい者相談支援センター	発達障がい基礎講座	10/18	6
		11/13	23
		11/15	14
		12/14	21
		1/27	9
生活介護事業所	発達障がい基礎講座	11/26	6
		12/5	11
		1/11	6
		1/20	18
		1/11	15
		1/31	10
		2/7	11
居宅介護事業所	発達障がい基礎講座	11/20	5
		11/28	34
		11/30	13
		1/10	21
		2/21	27
		3/15	21
		3/22	22
グループホーム・ケアホーム	発達障がい基礎講座	12/25	27
		2/19	8
合 計			951 人

★ アンケート結果 (実施者総数 480 人 回収率 89%)

【出前研修についての満足度】

内容	人数
大変参考になった	296 人
参考になった	105 人
あまり参考にならなかった	1 人
全く参考にならなかった	1 人
無回答	23 人
計	426 人

【出前研修についての理解度】

内容	人数
大変わかりやすかった	60 人
わかりやすかった	23 人



難しかった	3人
かなり難しかった	0人
無回答	340人
計	426人

### 【感想・意見】

- ・ 職員が揃っての研修はなかなか難しいので、事業所に直接来ていただけると本当に有り難いです。相談にもものっていただけるので助かります。
- ・ 疑似体験もでき、わからなかった部分を実感でき目から鱗でした。
- ・ このような研修によって、支援者間の障がい理解に一貫性ができ、今後の支援に役立つと思いました。
- ・ 身近な場所で、講師と近い距離で研修を受けることができ、多くの質問に答えていただけたのが有り難かったです。
- ・ 支援員になったばかりで不安な毎日でしたが、書籍で読んで勉強するよりも、はるかに理解することができ、このような機会に感謝しています。

### (2) 訪問支援

★実施済み (のべ432回・160か所)

区分	回数
私立保育園	229
障がい児通所施設	23
教育機関	3
区 保健福祉関係	49
その他 大阪市関係	1
当事者団体	1
青年成人期支援機関	90
障がい者相談支援機関	29
居宅介護事業所	6
その他	1
計	432

★アンケート結果 【回収54か所/実施78か所(回収率 69%)】

### 【サポートコーチの助言について 理解度】

内容	人数
大変わかりやすかった	41
わかりやすかった	13
少しわかりにくかった	0
わかりにくかった	0
合計	54

## 【サポートコーチの助言について 満足度・お役立ち度】

内容	人数
大変参考になった	47
少し参考になった	7
あまり参考にならなかった	0
参考にならなかった	0
合計	54

## 【助言を受けたことについて どれくらい実践できたか】

内容	人数
できることはほぼ実践した	34
少し実践した	14
実践するために体制を整えているところ	6
実践したいが困難を感じる	0
無回答	1
合計	54

## 【職員による対象者に関する理解について】

内容	人数
大変深まった	35
少し深まった	17
あまり深まらなかった	0
全く深まらなかった	0
無回答	2
合計	54

## 【施設内での共通理解・職員間の方向性の一致に役立ったか】

内容	人数
大変役立った	35
少し役立った	16
あまり役立たなかった	1
役立たなかった	0
無回答	2
合計	54

## 【感想・意見】

- ・ 職員が利用者へどのように対応するべきか日々葛藤していたので、このようにコンサルティングで学んだ事が役立っています。
- ・ 職員の専門性の向上に役立ち、支援の結果が職員全体の共通理解へと反映できれ

ばと思いました。

- 施設内でも事例検討を行いたいという声が多く上がってきました。
- 支援方法を知ることによって、今までの偏った考え方についてスタッフ間で話し合う機会が増えてきました。
- 保護者への働きかけのよいきっかけになり、今後の見通しも具体的に変わった事例もあります。
- 具体的で領域の広い実践に直結したご指導は、職員の心の支えになっています。
- 気になる子や個別配慮の必要な子どもが多い中、保育を進める上での手立てや子ども理解が進み、このような相談機会に強く期待しております。
- 個別支援だけでなく、保育全体の見通しにも繋がりました。
- 今まで行動理解ができず悩んでいたことが払拭され、対応に余裕がもてるようになりました。また、職員間でも保育の手立てについて話し合う機会が増えてきました。

### 【3】成人支援講座

#### (1) 成人スキルアップ講座

- ①基礎講座
- ②基礎講座に参加の成人期発達障がい者支援事業所（4事業所）をモデルに、年3回の訪問コンサルテーションを含め、ガイダンス講座・中間報告会・スキルアップ講座まとめを行い、スキルアップを目指す。
- ③公開講座として①の基礎講座に加え、②の事業所に取組内容を実践報告として発表してもらい、参加者に具体的支援手法を学んでもらう。

#### ☆成人スキルアップ講座の流れ

##### ○成人支援基礎講座

成人期基礎講座として、発達障がい者支援のあり方について講演を行い、基本的な支援の内容を学ぶ機会を提供する。

##### ○ガイダンス講座

機関コンサルテーションを希望の施設に、ガイダンスを行い、コンサルテーションを実施する意義、受け手と成り手の各々のスタンスについて講義。コンサルタントが施設のニーズを集約・課題点を明確にし、情報共有したうえで第1回訪問までにコンサルタントが助言等を精査する。

第1回訪問時に施設内を分析し課題点の整理、次回訪問までに取り組む内容等を助言。2回目の訪問の際には助言内容実施後の変化の状況を共有し、必要に応じて評価セッションを行い、その場でフィードバック。

##### ○中間報告会

各事業所2回のコンサルテーションの実施を踏まえ、課題点の整理とコンサルを受けて施設内で物理的構造化、環境設定、対応方法等をどのように取り組んだか、また、成果として施設内での利用者及び支援者にどのような変化が見受けられたかなどを、発表を基に最終コンサルテーションの方向性を明確化する。

##### ○成人スキルアップ講座まとめ

2回の訪問コンサルテーションを踏まえるとともに、施設独自の取り組み内容を整理し、実践報告会として実施する講座（2/8）までに追加で実施したこと等、支援の方向性、コンサルテーションの必要性を確認する。

##### ○公開講座：基礎研修＋実践報告（2/8）

講演と、事業所での実践報告の発表。次年度に関しても別の事業所に対して本事業の実施する方向性を予告し、希望施設を募る。

## (2) 成人スキルアップ講座の各講座の実施状況

## ①基礎講座

★実施済み (1回)

内容	開催日	参加者 内訳				計
		行政	事業者	家族・本人	未記入	
自閉症スペクトラムを中心に	5/29	25	62	17	17	121

## ②ガイダンス講座

★実施済み (1回)

内容	開催日	参加者
コンサルテーションの意義等	6/25	4施設 10人

## ③中間報告会

★実施済み (1回)

内容	開催日	参加者
取組内容や成果から今後のコンサルテーションの方向性を明確にする	10/1	2施設 10人
	10/4	2施設 10人

## ④成人スキルアップ講座まとめ

★実施済み (1回)

内容	開催日	参加者
取組内容の整理、支援の方向性、コンサルテーションの必要性など	12/10	4施設 14人

★①基礎講座参加者アンケート結果 (回収率 80%)

## 【講座内容について】

内容	人数
大変参考になった	68
参考になった	23
あまり参考にならなかった	1
参考にならなかった	0
未記入	5
合計	97

## 【感想・意見】

- ・原因に目を向けるのが大事だと感じた。問題行動を考える上で、ワークシートが参考になった。
- ・進むべき道、支援方法を改めて作り上げていく必要性を感じた。
- ・年々大きくなる息子をみながら、充実した生活や彼の出来る力を引き出すことを考える日々でしたが、とてもポジティブに先生が背中を押してくださいました。
- ・本人の障がいを理解すること、本人にとってどうかと言うことを見極めることの大切さを改めて実感しました。

【スキルアップ事業の実施状況】			
事業所	対象者の概要・課題点	コンサル内容	取組み・対象者の変化
④ 就労継続 B型・ 生活介護	療育手帳A 自閉症 ・作業時間中の指示の 教示方法 ・不適切行動(落書き)、 パニックに陥った際の 対応方法	・作業中のホワイトボードへの不 適切落書き→自分で消せたら褒め る ・作業ミスについて、過反応があ るため、「大丈夫」カードを見せつ つ声かけする。 ・評価キットを使用し評価セッシ ョン→言語コミュニケーションに ついて細部は伝わらないため、ス ケジュールなど利用し自発的に行 動できるよう環境設定	・カード導入の初期段階では 過剰反応も見受けられたが、 本人が不安なとき支援員に 「しんどい時は職員にいい ます」と発信できる文字によ る工夫と、クールダウンエリ アを設けることで対応。 ・自発的に行動に移すことを 経験することで安定を目指 す。
⑤ 生活介護	療育手帳A 自閉傾向 ・日中活動にのれない。 ・破壊行動 ・通園バスに乗れない。	・送迎バス→所内作業空間への移 動に関してスムーズにいかない時 は、スケジュール提示しながら活 動場所への誘導を助言。 ・評価セッション実施→平仮名等 は読み、言語理解も簡易なもの は可。現物・見本提示では作業遂行 可能と確認	・本人が入所している施設の 職員もコンサルテーション に同席し、本人の関わりにつ いて共通理解を深めた。 ・過剰な声掛けではなく、ス ケジュール提示による自発 的行動を促している段階
⑥ 就労継続 B型・ 生活介護	療育手帳A 自閉症 ・作業にのりにくい。 ・遅延エコラリア(好 きな歌手や思い出の場 所などの繰り返し発言)	・対象者が作業空間から逃避の場 合の対応の共通スタンスを決め る。 ・8月の人事異動により支援担当 者が変わり不安定な状況→支援の 枠組みの再構築を実施	・支援者の変更により不安感 が増大。関係性再構築が必要 となった。 ・支援ツールについては継続・ 変更を検討し、自発的行動が できるよう再設定
	療育手帳B1 自閉症 ・通所当初は真面目に 作業遂行可能→伏せて いる状況が多く見られ る	・ワークシステムの導入作業時間 の見通し→決められた量が終われ ば終了と言う点を設定。 ・行動動線の中に作業を組み込み、 10秒程度で終わるものを複数用 意する。	作業について作業量と余暇 内容も取り入れ、活動の充実 を図っている段階
⑦ 施設入所 支援	療育手帳A 重度自閉 ・入浴後→就寝までの 活動が上手に過ごせ ず、お茶の要求過多。 ・自立課題は実施して いる。	・自立課題は遂行できているが入 浴後3時間という長時間のため、 施設の日課も要検討。 ・入浴後の更衣の自立のためトラ ンジションエリアの設定等助言。	・1週間程で写真を持って行 動ができ、自立課題について は職員ナシで遂行可能な簡 易なもので実施可能となった。 ・更衣にはまだ課題がある

療育手帳 B1 広汎性発達障がい 居室内特定箇所への排 尿行為	・ 構造化を実施、居室レイアウト 変更し排尿容器を設置。 ・ 不適切箇所での排尿禁止を表示。 ・ 適切にできた際のトークン設定 を助言	・ トークン制度導入により成 功体験が徐々に増えてきた。 ・ 最終的に居室の不適切箇所 での排便はなくなった
--	---	---

### (3) 成人支援公開講座（基礎講座＋実践報告）

基礎講座として、自閉症の問題行動に視点を当て、冰山モデル・客観的評価の重要性など自閉症支援に必要なとされる支援の着眼点を講義形式で実施。

実践報告会においては、4事業所より2回目のコンサル訪問以降の経過ならびに、最終の訪問を踏まえ、利用者の問題行動がどのように変化したかに視点を向け参加施設より報告。いずれの施設に関しても、問題行動の軽減に至った経緯や、まだ試行錯誤の段階である面など現場での現在の状況と今後の課題も語られた。

担当コンサルタントより講評や助言を頂き、総括として講師より自閉症支援に対して構造化や評価の重要性の再確認、継続し一貫した支援の重要性が伝えられた。

#### ★実施済み（1回）

内容	開催日	参加者 内訳				
		行政	支援機 関	家族・ 本人	その他 不明	計
自閉症支援における問題行動の対応	2/8	4	126	3	4	137

#### ★アンケート結果（回収78%）

##### 理解度

内容	人数
大変わかりやすかった	42
わかりやすかった	53
難しかった	0
かなり難しかった	0
無回答	5
合計	107

##### 満足度

内容	人数
大変よかった	31
よかった	52
どちらでもない	4
よくなかった	1
全くよくなかった	0

無回答	12
合計	107

当該事業を次年度利用してみたいか

内容	人数
利用してみたい	54
利用してみたくない	4
利用してみたいが上司と要相談	16
利用してみたいが対象外施設	2
その他	3
無回答	23
合計	107

**【感想・意見】**

- ・配布された冊子、事例が具体的であったので、イメージしやすかった。
- ・ビデオ・映像があると、とてもわかりやすかった。
- ・支援方法として一度してみようと思う。
- ・「評価」してから、本人の行動への着目するポイント実施するという事の大切さを改めて知った。
- ・虐待防止につながる視点、ご本人のことを理解した支援が改めて気づかされた
- ・コンサルティングの結果が出ているのかはっきり伝わってこなかった。
- ・冊子に書いてある部分だけだとイメージしにくかった。イメージできやすいようもう少しプロフィールの項目を増やしてほしい。